一般質問　黒澤一夫議員（鹿山会）

問 本市の友好交流都市である、ショプロン市との相互交流について、現在の状況は。

答 新型コロナウイルス感染症やウクライナ侵攻等の影響により延期となっている。来年6月のショプロン市長選後に、来市についての協議を予定している。

録画配信はこちらから

黒澤　一夫 議員（鹿山会）

質問時間 30分

質問した項目

- ツキノワグマの出没による人身被害及び農作物等の被害防止の取り組みについて
- 郷土芸能、民俗芸能の保存伝承の取り組みについて
- 国際交流事業の取り組みについて　ほか

郷土芸能、民俗芸能の保存伝承の取り組みについて

問 郷土芸能、民俗芸能の保存伝承のため、小中学校の正課に位置づけ、取り組むことはできないか。

答 すでに正課授業の総合的な学習などにおいて、郷土芸能に関する特色ある教育活動を進めている。今後も地域への愛着や郷土芸能を大切に思う意識の醸成を育んでいく。

花輪舟場稲村橋と尾去沢中学校間の道路の通行、横断の安全確保対策について

問 稲村橋から尾去沢中学校までの区間において、横断歩道を新たに2カ所新設できないか。

答 横断歩道の設置については、秋田県公安委員会が最終的な決定を行う。横断歩道の設置基準は「交通規制基準」により、隣接する横断歩道までの間隔が、市街地ではおおむね100メートル、非市街地ではおおむね200メートル以上と定められている。歩行者の安全確保だけではなく、車両の通行に配慮して設定されている条件も多く、鹿角警察署からは新規設置の基準を満たすことは大変厳しいと伺っている。

一般質問　児玉悦朗議員（鹿真会・公明）

問 かづの観光物産公社の登記上の代表者は誰か。

答 かづの観光物産公社の取締役会において、法的な確認作業を行っていることから、登記手続きが行われていないため、現在も登記上は従前の代表取締役のままとなっている。

録画配信はこちらから

児玉　悦朗 議員（鹿真会・公明）

質問時間 30分

質問した項目

- かづの観光物産公社の運営について

かづの観光物産公社の運営について

問 今後の登記手続きと公社運営をどのようにしていくのか。

答 10月17日の取締役会で選任された舛屋代表取締役常務の登記については、速やかに登記手続きを行うべきと考え、取締役会の動向を注視している。

公社の運営については、仕入れ方法や監査体制の改善、経営方法の合理化と効率化が図られるよう、指導・監督を行っていく。

問 代表権の変更登記が行われていない組織を指定管理の相手に指定することは妥当ではないと考えるが、市の考えは。

答 10月17日に開催された取締役会において、舛屋副市長が代表権を持つ常務取締役に選任され、即日で効力を有している。

これを経て、公社から鹿角観光ふるさと館の指定管理の指定に係る申請書が提出され、審査を行った上で選定したものであり、何ら問題はないと認識している。